



地元プロスポーツチームをPRするタペストリー
＝金沢駅もてなしドーム

観戦呼び掛け

縦8段、横3段となる。地元のプロスポーツチームに愛着を持ってもらおうと、金沢市が制作した。来年3月末まで掲示される。

2年の3万4500人を超え、前年比では2割増となった。4月にオープンした鶴の丸休憩館の利用も

IOTモデル企業に3社

県など採択

県と県情報システム工業会は、あらゆる物をインターネットでつなぐIOTを活用して作業効率化に取り組むモデル企業3社を採択した。年度内にIOTシステムを本格導入した事例を

発表し、他企業にも波及させる。

浅下鍍金(白山市)は、工場内の機械の稼働状況を見える化し、効率的な生産につなげるシステムを導入する。江野鉄工所(小松市)は製品に取り付けたバーコードで、保管状況や位置な

どを把握できる仕組みを取り入れる。

本螺子製作所(能美市)は、従業員がその場にいないくてもラインの作業状況が分かるセンサーを設け、稼働率を上げる。

県などは、100万円を上限にシステム導入の費用を補助する。3社の取り組みは県情報システム工業会のホームページで公開する予定としている。

IOTセミナー 来月金沢で開催

県情報システム工業会の「IOTセミナー」は9月1日、金沢市の県地場産業振興センターで開かれる。

IOTを活用した生産性向上に取り組む武州工業(東京)の林英夫社長が講演するほか、出席者の交流会も企画されている。問い合わせは県情報システム工業会076(267)47411まで。